

太陽光発電を使い切る「家産家消」の暮らし方へ。

01 売電と自家消費

売電価格が低下している中、自家消費がお得に。余剰電力を売電する暮らしと自宅で使う暮らしを比較してよりお得に活用することができます。

ケース① 卒FITユーザーの場合 売電価格8.5円/kWh・年間売電量3,600kWh

売電モード	の場合	3,600 kWh	×	売電 8.50 円	=	30,600 円 売れる
グリーンモード	の場合	3,600 kWh	×	買電 17.78 [*] 円	=	64,000 円 安くなる

※東京電力スマートライフプランを参考

グリーンモードの方が **年間約 33,000 円以上** お得！

ケース② 太陽光発電を新設の場合 2022年度売電価格17円/kWh・年間売電量3,600kWh

売電モード	の場合	3,600 kWh	×	売電 17.00 円	=	61,200 円 売れる
グリーンモード	の場合	3,600 kWh	×	買電 17.78 [*] 円	=	64,000 円 安くなる

※東京電力スマートライフプランを参考

グリーンモードの方が **経済的メリット**がある！

02 AIがコントロール

さらに、AI 自動制御サービスに加入すれば、翌日の発電量や使用量を予測して、前日夜間の最適な充電量を自動制御。自家消費量を最大化できます。

※サービスの詳細は14 ページをご覧ください。

翌日が晴れのケース

前日夜間 → 当日

「余剰電力量」を見込み少なめに蓄電 昼間の「余剰電力量」をムダにすることなく蓄電

翌日が雨のケース

前日夜間 → 当日

「余剰電力量」が見込めないため満充電 「発電電力」がないので蓄電池からたっぷり放電

オーナー様の声 | OWNER'S VOICE

【熊本県・50代ご夫婦】

太陽光パネルを家につけてから10年たち、固定価格買取制度終了の通知が届きました。今まで1kW40円ほどで売っていたのに、これからは10円にもならないことがわかったんです。蓄電システムを知って、電気を売って得をするのではなく、買わずに得をしよう、と切り替えることができありがたかったです。

オーナー様の声 | OWNER'S VOICE

【東京都・50代ご家族】

毎日車を使いますが、街にある充電器スタンドは使ったことがないんです。というのも、うちにはV2Hスタンドがあり、太陽光パネルで発電した電気をそのまま電気自動車に充電しているから。電気自動車はガソリン車と比べると確かに大きな買い物ですが、毎日の燃料費が節約されるので大満足です。

Q どのメーカーの電気自動車に対応していますか？

A 主な日本製車種と一部の外国製車種の電気自動車に対応します。

電気自動車の対応車種については当社Webサイトに最新情報を掲載しています。



使ううちにどんどん蓄電容量が減るのでは？

長寿命の新開発リチウムイオン蓄電池を採用しています。

携帯電話やスマートフォンなどに使われる電池とは違い、電気自動車用に開発された長寿命設計の蓄電池を採用しています。

どのメーカーの太陽光パネルと接続できるの？

技術的には、ほとんどのパネルメーカーと接続可能です。

継続保証などの確認は、販売店にご相談ください。

動作中の騒音レベルはどのくらい？

図書館と同じくらいの静かさです。

40dB以下となっており、図書館と同じくらいの静かさとなります。

停電時、切替操作などは必要？

機器が自動で切り替えます。

停電になった場合、機器が約1~2秒間のブランクの後、自動で切り替えます。※電気自動車からの自動給電は充放電コネクタが接続されている場合に限りです。

停電時のために、蓄電容量を残しておける？

「蓄電池放電下限値(非常時安心設定)」と「車両放電下限値」で設定できます。

災害時のために常時残しておく電気残量を0%から100%の間で設定できます。

蓄電池の充電にはどのくらい時間が必要？

約3時間で満充電。満充電まで約3時間で充電できます。(4.9kWh:3時間 9.9kWh(増設時):約3.5時間 7.4kWh:約4時間 14.9kWh(増設時):約4時間)

電気自動車への充電は時間がかかるの？

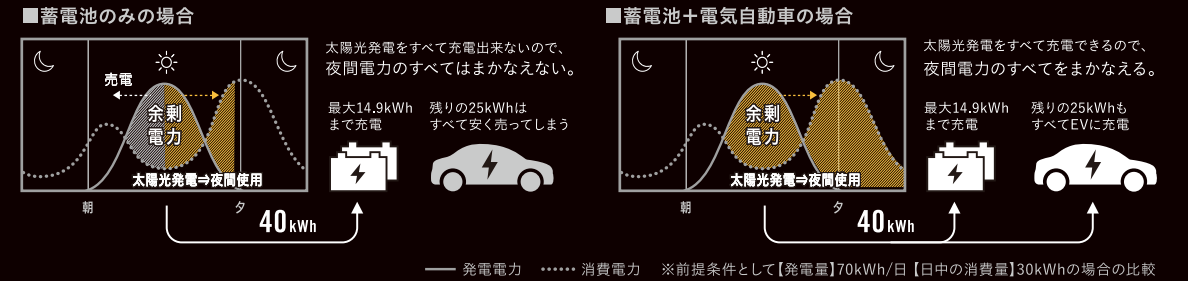
通常の充電設備の、約3倍のスピードです。200V普通充電設備に比べ、標準充電5.9kWでも2倍、ハイスピード拡張充電だと9.9kWで約3倍の速さで充電が可能です。

Q

A

03 電気自動車活用

電気自動車を購入したら、その大容量電池を使って完全家産家消を実現。日中電気自動車が自宅にあれば、発電量が大きくても、電気自動車に蓄えておき夜間に使用できるので電力会社からなるべく電気を買わずに暮らせます。



04 クルマのエネルギーコスト

毎日のクルマのエネルギーコストは0円に。トライブリッド蓄電システム®と電気自動車を組み合わせることによって、毎日のクルマのエネルギーコストを下げるすることができます。

ガソリン車と電気自動車のエネルギーコストを比較してみると

通勤に自家用車をお使いの方の走行距離は月に1,000km、年間12,000km程度だと言われています。(※1)

ガソリン車	走行距離 12,000 km	燃費 12 ^{※2} km/L	ガソリン代(1Lあたり) 140 ^{※3} 円/L	12,000kmの走行に必要なガソリン代	140,000 円
電気自動車(EV)	走行距離 12,000 km	電費 10 ^{※4} km/kWh	電気代 17 ^{※5} 円/kWh	12,000kmの走行に必要な電気代	20,400 円

電気自動車にすると年間 **119,600 円** 節約に！

さらに、トライブリッド蓄電システム®と電気自動車を組み合わせた場合

12,000kmの走行に必要な電気代 20,400 円

太陽光発電ですべてまかなえると※6

12,000kmの走行に必要な電気代 **0 円**

車のエネルギーコストが **0 円**に！※7

つまり... ガソリン車と比較した場合、年間**140,000 円**もエネルギーコストを節約！※8

※1 自動車保険各社推計をもとに二乗算 ※2 お持ちのガソリン車の燃費を12km/Lとした場合の試算です。 ※3 経済産業省 資源エネルギー庁 石油製品価格調査を参考(2018年2月) ※4 日産 新型リーフ(IC08モード)の場合 ※5 東京電力スマートライフプラン深夜料金を参考 ※6 太陽光発電した電力を電気自動車に使用するとその分売電量が減ります。 ※7 天候や家庭での電気使用量によっては0円にならない場合があります。 ※8 あくまで試算であり効果を保証できるものではありません。